

# 日本で会える動物 【鳥類2】

**地** 地獄谷野猿公苑でも、運がよければ、いろいろな日本の野鳥に会うことができます。



## タンチョウ **茶**

分類：ツル目ツル科  
 英名：Japanese Crane  
 学名：*Grus japonensis*  
 分布：ロシア（アムール川流域）、中国東北部、朝鮮半島、日本では北海道東部  
 全長：125~152cm  
 翼開長：2.4m  
 体重：6.3~9kg  
 生態：日本産鳥類中最大種のひとつ。雑食性で湿地の魚や水生昆虫や草の種子などを食べる。家族群が集まり小群をつくる。

Photo: Chausuyama Zoo



## ダイサギ **茶**

分類：ペリカン目サギ科  
 英名：Great Egret  
 学名：*Egretta alba*  
 分布：世界中の温帯、亜熱帯（日本では本州、九州）  
 全長：90~102cm  
 翼開長：120~140cm  
 体重：0.7~1.2kg  
 生態：湿地、干潟、湖沼などで、ゆっくり歩きながら魚・カエルなどを捕まえて食べる。日本では夏鳥としてチュウダイサギが、冬鳥としてオオダイサギが渡来する。集団で繁殖し、高木の枝を集め巣を作る。

Photo: Chausuyama Zoo



## チュウサギ **飯**

分類：ペリカン目サギ科  
 英名：Intermediate Egret  
 学名：*Ardea intermedia*  
 分布：アジア、アフリカ、オーストラリアの温帯・熱帯  
 全長：68.5cm  
 翼開長：114cm  
 体重：440~630g  
 生態：ダイサギより一回り小さい中型のサギ。日本では夏鳥で、暖地では越冬もする。ダイサギやコサギに比べ、乾いた場所でも主にバッタなどの昆虫を採って食べる。



## コサギ **城**

分類：ペリカン目サギ科  
 英名：Little Egret  
 学名：*Egretta garzetta*  
 分布：アジア、アフリカ、オーストラリアなどの温帯、亜熱帯  
 全長：55~65cm  
 翼開長：90~105cm  
 体重：340~600g  
 生態：水田、河川、湖沼にすみ、片脚を震わし餌を追い出している習性がある。他のシラサギと違って、指だけが黄色い。

Photo: Johyama Zoo



## ゴイサギ **小**

分類：ペリカン目サギ科  
 英名：Black-crowned Night Heron  
 学名：*Nycticorax nycticorax*  
 分布：日本、ユーラシア、アフリカ、北アメリカ、南アメリカなど  
 全長：58~65cm  
 翼開長：105~112cm  
 体重：400~800g  
 生態：夜行性で、星は水辺ややぶで眠り、夕方から川や池などの水辺を徘徊しながら魚、両生類などを捕食する。

Photo: Komoro Zoo



## マナツル **飯**

分類：ツル目ツル科  
 英名：White-necked Crane / White-necked Crane  
 学名：*Grus vipio*  
 分布：【夏季】ロシア、モンゴル、中国、【冬季】日本、朝鮮半島  
 全長：120~153cm 翼開長：200~210cm  
 体重：4.75kg~6.5kg  
 生態：日本には冬鳥としてやってくる。全国から記録はあるが、九州以外ではごく少数。湿原や草原に生息し、雑食性で魚や草の根や種子などを食べる。

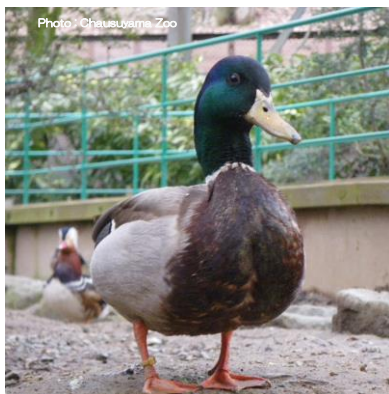
Photo: Iida Zoo



## コハクチョウ **松**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Tundra Swan  
 学名：*Cygnus columbianus*  
 分布：【夏季】ユーラシア大陸北部（繁殖）【冬季】ヨーロッパ、カスピ海、日本など（越冬）  
 全長：115~150cm  
 翼開長：180~225cm  
 体重：4~8kg  
 生態：本州の湖沼、大きな川などに冬期間渡来する冬鳥。松本アルプス公園では、翼のケガなどで保護されてきた個体を飼育している。

Photo: Matsumoto Alps Park



## マガモ **松大茶小**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Mallard  
 学名：*Anas platyrhynchos*  
 分布：北半球、温帯帯  
 全長：オス約60cm メス約53cm  
 翼開長：85~99cm  
 体重：0.8~1.5kg  
 生態：本州中部以北で繁殖するが、日本全国に冬鳥として渡来し、湖沼や池、川、海岸などに生息する。雌雄異色。オスの頭部は冬期に緑色、夏期に茶色になる。植物食性の強い雑食で、おもに水生植物や昆虫などを食べる。

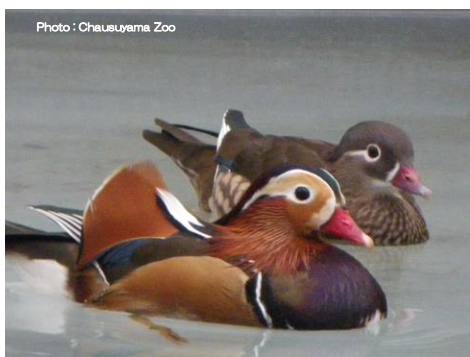
Photo: Chausuyama Zoo



## カルガモ **松大小飯**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Spot-billed Duck  
 学名：*Anas poecilorhyncha*  
 分布：日本各地、朝鮮半島、中国など  
 全長：オス63cm メス53cm  
 翼開長：83~99cm  
 体重：1kg  
 生態：湖沼や池、川、海岸などに生息。雌雄同色。植物食性の強い雑食で、おもに水生植物や昆虫などを食べる。ヒナは早成性で、孵化後間もなく巣を離れ、水生生活を始める。

Photo: Omachi Alpine Museum



## オシドリ **松茶城須小飯**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Mandarin Duck  
 学名：*Aix galericulata*  
 分布：ロシア南東部、アジア東部（日本・中国・韓国など）  
 全長：オス48cm メス41cm 翼開長：68~74cm  
 体重：オス630g メス510g  
 生態：山間の渓流、森林中の池などに生息し、草の種子、水生植物をおもに食べ、林内を歩きまわってドングリも採食する。繁殖期のオスは独特な色彩の羽をしており、腰辺りにイチチョウ型の羽がある。非繁殖期のオスはメスと同様の灰色~茶色だが赤色のくちばしと黄色の足は変化しない。

Photo: Chausuyama Zoo



## コガモ **松**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Common Teal  
 学名：*Anas crecca crecca*  
 分布：【夏季】ユーラシア大陸北・中部 北アメリカ大陸北・中部（繁殖）【冬季】ヨーロッパ南部、アジア南部・東部、北アメリカ大陸中・南部（越冬）  
 全長：34~38cm  
 体重：320~350g  
 生態：日本で見られるカモの中では、最も小さい種類のひとつ。

Photo: Matsumoto Alps Park



## ツクシガモ **茶**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Common Shelduck  
 学名：*Tadorna tadorna*  
 分布：【夏季】ヨーロッパ北部、アジア中部 【冬季】南ヨーロッパ、北アフリカ、西日本（冬鳥）  
 全長：58~67cm 翼開長：110~133cm  
 体重：オス318~350g メス290~334g  
 生態：西日本に多い冬鳥。塩水性で、干潟や内陸塩水湖の開湖地に住み、群集で採食する。

Photo: Chausuyama Zoo



## オナガガモ **松**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Northern Pintail  
 学名：*Anas acuta*  
 分布：【夏季】ユーラシア大陸北部 北アメリカ大陸北部（繁殖）【冬季】アフリカ大陸北部、ユーラシア大陸、北アメリカの温帯から熱帯地域など（越冬）  
 全長：オス61~75cm メス51~57cm  
 体重：約850g  
 生態：カモの仲間でも分布域が広い1種。繁殖期のオスの黒くて長い尾羽が特徴的。

Photo: Matsumoto Alps Park



## アカツクシガモ **松**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Ruddy shelduck  
 学名：*Tadorna ferruginea*  
 分布：【夏季】ユーラシア大陸中部（繁殖）【冬季】アフリカ大陸北部、ユーラシア大陸南部、中国、朝鮮半島など（越冬）  
 全長：63~66cm  
 翼開長：83~99cm  
 体重：1~1.4kg  
 生態：日本では冬季に越冬のためまれに飛来する。オスは首に黒いリングが入り、メスは小柄で顔が白っぽい。

Photo: Matsumoto Alps Park



## ヒドリガモ **松**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Eurasian Wigeon  
 学名：*Anas penelope*  
 分布：【夏季】ユーラシア大陸北部、アイスランド（繁殖）【冬季】ヨーロッパ、アフリカ北部、インド北部、中国南部、朝鮮半島、日本など（越冬）  
 全長：オス約53cm メス約43cm  
 翼開長：83~99cm 体重：640~720g  
 生態：冬季、日本でみられる最も普通のカモのひとつ。ヒューヒューと鳴く。

Photo: Matsumoto Alps Park



## キンクロハジロ **茶**

分類：カモ目カモ科  
 英名：Tufted Duck  
 学名：*Arthya fuligula*  
 分布：北ヨーロッパ、シベリア、日本（冬鳥）  
 全長：40~47cm 体重：0.3~1kg  
 生態：潜水が巧みで動植物類を混食する。淡水湖沼に群れをなして越冬する。日本には冬鳥として渡来し、北海道で少数繁殖する。

Photo: Chausuyama Zoo